



「ひろしま さとやま未来博2021」 の実施結果について

1 要旨・目的

県内中山間地域を対象に、昨年9月5日（日）から12月19日（日）までオンラインを活用して開催した「ひろしま さとやま未来博2021」^{にーまるにーいち}の実施結果について報告する。

2 現状・背景

中山間地域の集落は小規模化や高齢化が大きく進み、地域活動の担い手が不足する中、コミュニティでの共同作業や伝統行事等の活動が困難な集落が増加してきている。

こうした中、コミュニティビジネスのみならず、地域の抱える課題解決に関心のある人の「ひろしま里山・チーム500」^{ごーまるまる}への登録を促し、将来において地域の推進役となるリーダーを確保・育成していくことが求められている。

このため、今般の未来博では、特に地域づくり活動の実践者が造成した地域づくりの体験プログラムへの参加を促すなどによって、活動人材の裾野の拡大を目指した。

3 概要

(1) 対象者

中山間地域の地域づくりに関心のある県内外の人材

(2) 実施内容

■ 対象地域	中山間地域（19市町）
■ 開催方法	オンラインで体験できる活動紹介プログラム等の配信
■ 主な構成	<p>➤ オープニングイベント ～庄原市から配信</p>  <p>➤ 里山コロザシ・カフェ ～テーマ別に実践者と参加者が交流するワールドカフェ</p> 

	<p>➤ リーディングプロジェクト ～最新の里山の動きを紹介するプログラム</p>  <p>➤ さとやま GOOD プロジェクト ～地域づくり実践者の活動の体験プログラム</p>  <p>神楽をテーマとしたプログラム</p> <p>芸備線の乗車体験プログラム</p> <p>➤ クロージングイベント ～江田島市から配信（里山グッドアワード表彰式を含む）</p> 
<p>■ 目 標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●特設サイトのPV数 12万PV ●体験プログラム等への参加者数 2万人 ●チーム500登録者増加数（全体目標） 65人

(3) スケジュール

令和3年9月5日（日）～12月19日（日）

(4) 予算（単県）

34,600千円

(5) 事業効果等

区 分	目 標	実 績
特設サイトのPV数	120,000PV	282,247PV
体験プログラム等への参加者数	20,000人	33,815人
チーム500登録者増加数 ※	65人	66人

※ 数値は12月末現在における集計値

- 33,000人以上の体験プログラム等への参加が得られ、広く里山里海の魅力や実践者の活動を知ってもらえる機会が提供できた。
- 体験プログラム等への参加をきっかけとして、関心層と体験プログラム造成者との交流を通じて、関心層の中から、里山での活動を開始した者が現れ始めている。

- 体験プログラムの造成者の動きとして、神楽団員のネットワークづくりや芸備線ファンの SNS グループの立ち上げなどが起きている。
- 未来博などの一連の取組により、チーム 500 の登録者増加数は年間目標の 65 人を達成した。

(6) 今後の対応

今般の体験プログラムの造成者である参画層に対しては、継続してチーム 500 の登録を働きかける。

また、未来博に参加した関心層に対しては、蓄積された体験プログラムを生かして、参画層へと誘導し、地域づくり活動人材の裾野をさらに拡大していく。

4 その他（関連情報等）

アーカイブ化した体験プログラムを視聴できるよう、当面の間、特設サイトの運営を継続する。

「ひろしま さとやま未来博 2021」特設サイト <https://satoyamagood.com/>